

クラブアドバイザーも資質・技術の向上を目指しています!

クラブを運営されているみなさまに寄り添って活動をしているクラブアドバイザーは、資質と技能の向上のための研修を毎年受けています。その研修の様子をご紹介します!

クラブアドバイザーとは?

クラブアドバイザーは、総合型クラブが地域スポーツの担い手として重要な役割を果たしていけるよう、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすることを目的に活動しています。日本スポーツ協会では、令和元年度は27道府県体育・スポーツ協会に27名のクラブアドバイザーを配置しています。

クラブアドバイザーミーティングとは?

日本スポーツ協会が配置しているクラブアドバイザー等を対象に、その資質と技能の向上を図ることを目的に実施しています。

今年度は、「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」、「中間支援組織の2021年度からの運用に向けて」をメインテーマに、5月30日(木)・31日(金)の日程で行われました。

1日目 5/30(木)

▼説明▼

- 「平成30年度スポーツ活動支援事業(総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)」について
- 総合型クラブ登録・認証制度の検討状況について

説明者: 日本スポーツ協会 クラブ育成課職員

日本スポーツ協会職員から、日本スポーツ協会が昨年度受託し実施したスポーツ庁委託事業「平成30年度スポーツ活動支援事業(総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)」において作成した報告書の概要について説明しました。

また、日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会としての「登録・認証制度原案(案)」の概要、制度運用までのスケジュール等について情報共有を行いました。

▼講演兼アイスブレイク▼

「一瞬で相手の心を引き付ける、プレゼンテーション力」
説明者：佐藤 美咲氏(株式会社 ボディチューン・パートナーズ)

クラブアドバイザーは、クラブ訪問等において、伝える力が特に重要視されることから、昨年度に引き続き「プレゼンテーションスキル」にスポットを当て、佐藤氏に講演いただきました。

講演では、相手を理解するためのソーシャルスタイル理論や相手の感情プロセスのほか、感情を踏まえたコミュニケーションとしてDESC法※について学びました。

<参加者の感想(一部)>

- 話し方、コミュニケーションの取り方を自身の中で整理することができた。
- 今後、話し方を工夫し、相手に伝えていけるようにしたい。

※DESC法：相手に言いづらいことを伝える際の技法の一つ。

客観的に事実を伝え(Describe)、
自分の意見を表現し(Express)、
事実・意見を踏まえた代替の提案をし(Suggest)、
提案の結果を可視化する(Consequence)こと。



2日目 5/31(金)

▼説明▼

- 登録・認証制度原案(案)における登録手続きに関する「事務局マニュアル」概要および登録申請書類と審査方法について
- 登録・認証制度原案(案)と中間支援組織の関係について

説明者：日本スポーツ協会 クラブ育成課職員

日本スポーツ協会職員から、登録・認証制度原案(案)における登録申請書類および登録手続きの流れについて説明したほか、平成30年度「スポーツ活動支援事業(総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)」報告書において示された登録・認証制度と中間支援組織の関係について説明しました。

▼グループワーク▼

「登録申請書類(申請書類⑦. 総合型クラブの評価指標を用いた自クラブの自己点検・評価の結果)を基にクラブへの支援内容を考える」

登録・認証制度原案(案)において示された登録手続きには、登録を希望するクラブが登録申請を行う際に提出する書類の中に、「持続可能な総合型クラブの推進に向けた取組の指針と評価指標※」を用いた自己点検・評価の結果が含まれています。

この自己点検・評価の結果は、クラブ自身がこの結果を基に自クラブの運営状況の改善・充実につなげるために活用できるほか、中間支援組織が支援内容を検討する際に活用することもできると考えられます。

そこで、グループワークでは、「今後の総合型クラブへの支援を考える」をテーマに、まず各都道府県が現在行っている総合型クラブへの支援内容を共有した後、クラブから提出される自己点検・評価の結果を踏まえた今後の総合型クラブへの支援の在り方や内容について検討しました。各グループの発表では、今後の総合型クラブへの支援にあたり、「総合型クラブの認知度向上のための支援」、「総合型クラブと行政・企業等が連携するための支援」等に関する提案がなされたほか、「集合研修といった県内クラブ全体への包括的な支援ではなく、個々のクラブに対する個別の支援が特に必要となるのではないか」との意見も出されました。

今回参加者からいただいた意見は、今後日本スポーツ協会が登録・認証制度や中間支援組織を検討する際の参考とします。

※平成26年度に日本スポーツ協会が文部科学省から受託し、作成。詳細は日本スポーツ協会ホームページよりご覧いただけます。

<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1065.html>





お知らせ

日本スポーツ協会情報

日本スポーツ協会事業概要パンフレット公開

日本スポーツ協会事業概要紹介パンフレット「スポーツと、望む未来へ。平成30年度事業概要」を公開しました。

事業概要パンフレットはこちら

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho_kyanpen/doc/JSPO_outline2019.pdf

指導者資格情報

2019年10月1日付公認スポーツ指導者登録・更新手続きを開始します。

資格の取得および資格継続のために必要な手続きとなりますので、該当する方は期限までにお手続きいただきますようお願いいたします。

なお、該当の方には7月下旬に登録住所あてに登録手続き書類をお送りします。

(指導者マイページ保有者にはメールでもお知らせします。)

資格登録内容をご確認の上、登録料のお支払いをお願いいたします。

熱中症対策情報

暑いとき、屋内外のスポーツ活動で特に気をつけたいのが熱中症。

熱中症を予防することで、重症例や死亡事故を防ぐことができます。

「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」が6年ぶりに改訂されました。

実践に近い身近な情報も掲載していますので、ガイドブックを読んで、熱中症を予防しましょう！

スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック(デジタル版PDF)はこちら

<https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid776.html#guide01>

スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック改訂のポイントはこちら

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/heatstroke_leaflet201905.pdf

セミナー情報

ブロック別クラブネットワークアクション2019開催

【日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 主催】

総合型地域スポーツクラブ関係者が抱える課題解決の糸口を探るための情報の共有化や、クラブ育成支援のためのネットワークの強化を図ることなどを目的として全国9ブロックでクラブネットワークアクションを開催します。

開催日についてはこちらから

※詳細は8月頃から随時掲載します。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/508/Default.aspx>

幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会開催

日本スポーツ協会(日本スポーツ少年団)が平成26年度に作成した、幼児及びその保護者等を対象にした活動プログラム「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」の効果的な活用法を周知することを目的に、地域のスポーツ少年団関係者等を対象とした講習会を開催します。

開催日時・場所・申込方法等詳細については以下のURLを参照ください。

<http://www.japan-sports.or.jp/club/tabid1061.html>

2019年度ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト (J-STARプロジェクト)

J-STARプロジェクト エントリー受付【3期生】 & PRイベント開催のお知らせ

2019年度J-STARプロジェクトのエントリー受付を6月17日(月)からスタートしています！

2019年度J-STARプロジェクトのチラシはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp//Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R1/Jstar.pdf>

<エントリー方法・条件等>

J-STARプロジェクトホームページをご覧ください。

<https://www.j-star.info/>

※団体ごとで一括申し込いただく方法もございます。

皆さまのクラブの会員や関係者の方の中で、

「将来オリンピック・パラリンピックに出場してみたい人」

「いま取り組んでいる競技以外の競技もやってみたい人」など、何かにチャレンジしたい中・高校生、障がい者の方が身近にいらっしゃいましたら是非ご参加を呼び掛けていただければと思います。

誰しにもチャンスはあります。

「道はひとつじゃない 新たな競技へチャレンジ！」

たくさんのご応募お待ちしております！

また、J-STARプロジェクトに関するPRイベントを下記の通り開催いたしますので、お近くの方はぜひご参加ください。

イベント名: J-STAR SPORTS FESTIVAL 2019

日時: 8月13日(火)10:00~16:00(予定)

場所: 静岡県小笠山総合運動公園エコパ(最寄駅: JR愛野駅)

内容: 中・高校生ライジングスター決定戦、特別講演(谷本道哉氏)、
トークショー(室伏由佳氏・杉本美香氏・廣瀬誠氏・北澤豪氏)、ミニ運動会、J-STAR競技体験、
ジュニアアスリートのための栄養講座など

★参加者の方に抽選でスペシャルプレゼントもご用意！！

※公認スポーツ指導者資格の更新研修の対象イベント

イベントの詳細(チラシ)はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp//Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R1/JstarFes.pdf>

【本件に関する問合せ先】

日本スポーツ協会 国体推進部 競技支援課

Eメール: kyougi@japan-sports.or.jp

TEL: 03-6910-5809 FAX: 03-6910-5820

フェアプレイで日本を元気に

7月11日(木)、東京都港区立御田小学校にて今年度第1回目の“フェアプレイスクール”を開催しました！

フェアプレイスクールとは、世界で活躍した元トップアスリートが、子どもたちにフェアプレーの精神や行動を伝えるため、全国の小中学校・特別支援学校に訪問しフェアプレーについての講義とスポーツ体験授業を行うものです。

当日は元競泳選手でオリンピックメダリストの星奈津美さんを講師として実施。同校4年生59人が参加し、一緒にフェアプレーを考え、実際にフェアプレーを体感する実習を行いました。



● 当日の詳細 → <https://www.facebook.com/JSPO.Association/posts/2344309218958890>

● JSPOの「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンはコチラ

<https://www.japan-sports.or.jp/fair/>

※今年度のフェアプレイスクールは、今回を含め計10校を全国各地で開催予定です。

ラグビーワールドカップ2019™日本大会情報

アジアで初、ラグビー伝統国以外で初となるラグビーワールドカップが、この日本で開催されます。世界最高峰のラグビーをぜひお楽しみください。

開催期間 2019年9月20日(金)～11月2日(土)

参加チーム 20チーム (下表をご参照ください。)

試合形式 プール戦 5チーム×4プール(プール内総当たり戦):40試合

決勝トーナメント 準々決勝/準決勝/3位決定戦/決勝:8試合

プール表

プールA	プールB	プールC	プールD
 アイルランド	 ニュージーランド	 イングランド	 オーストラリア
 スコットランド	 南アフリカ	 フランス	 ウェールズ
 日本	 イタリア	 アルゼンチン	 ジョージア
 ロシア	 ナミビア	 アメリカ	 フィジー
 サモア	 カナダ	 トンガ	 ウルグアイ

試合会場 日本全国12会場

開催都市 札幌市、岩手県・釜石市、埼玉県・熊谷市、東京都、神奈川県・横浜市、静岡県、愛知県・豊田市、大阪府・東大阪市、神戸市、福岡県・福岡市、熊本県・熊本市、大分県

大会の詳細はこちら (試合日程や大会の最新情報をご覧ください。)

<https://www.rugbyworldcup.com/>

チケットの情報はこちら

<https://tickets.rugbyworldcup.com>

スポーツ庁からのお知らせ

スポーツ共創人材育成ワークショップ合宿2019

スポーツ庁委託事業「2019年度スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・新たなアプローチ展開」の一環として開催される「スポーツ共創人材育成ワークショップ合宿2019」に関するご案内です。

スポーツ庁では平成29年度より、自分たちのスポーツを自分たちでつくる「スポーツ共創」という取り組みを行っています。

これは「する、みる、ささえる」というスポーツの軸に「つくる」という軸を加えることで、親しみやすい新たなスポーツを生み出し、スポーツ無関心層が興味を持ち、実施可能なスポーツの選択肢を広げ、スポーツ人口の拡大を図ることを目的としています。こうした「スポーツ共創」活動を自分たちの場で実践する人材を増やすためのワークショップが開催されます。

今回は特に、スポーツ共創の先導をし、学校の授業や運動家・地域イベント等を設計、運営する人が対象となっておりますので、ご興味がある方は、ぜひお申込みください。

【スポーツ共創ワークショップ合宿】

日 時： 2019年9月14日(土)～16日(祝) ※合宿2泊3日間

場 所： お茶の水女子大学附属小学校

定 員： 40名程度(定員に達した場合、参加者の選考を行います)

参加費： 無料(ただし、交通費等は自己負担となります)

主 催： 一般社団法人 運動会協会

協 力： 未来の体育を構想するプロジェクト

特設WEBサイト

<https://sites.google.com/view/2019sportskyoso/>

チラシPDF

<https://sites.google.com/view/2019sportskyoso/home/chirasi>

お問合せ先

<https://sites.google.com/view/2019sportskyoso/home/otoiawase?authuser=0>

※また、直近では8月3日(土)にも松本大学でスポーツ共創ワークショップが開催されます。

詳細は以下特設サイトをご覧ください。

特設WEBサイト <https://sites.google.com/view/yugakujiyuku20>